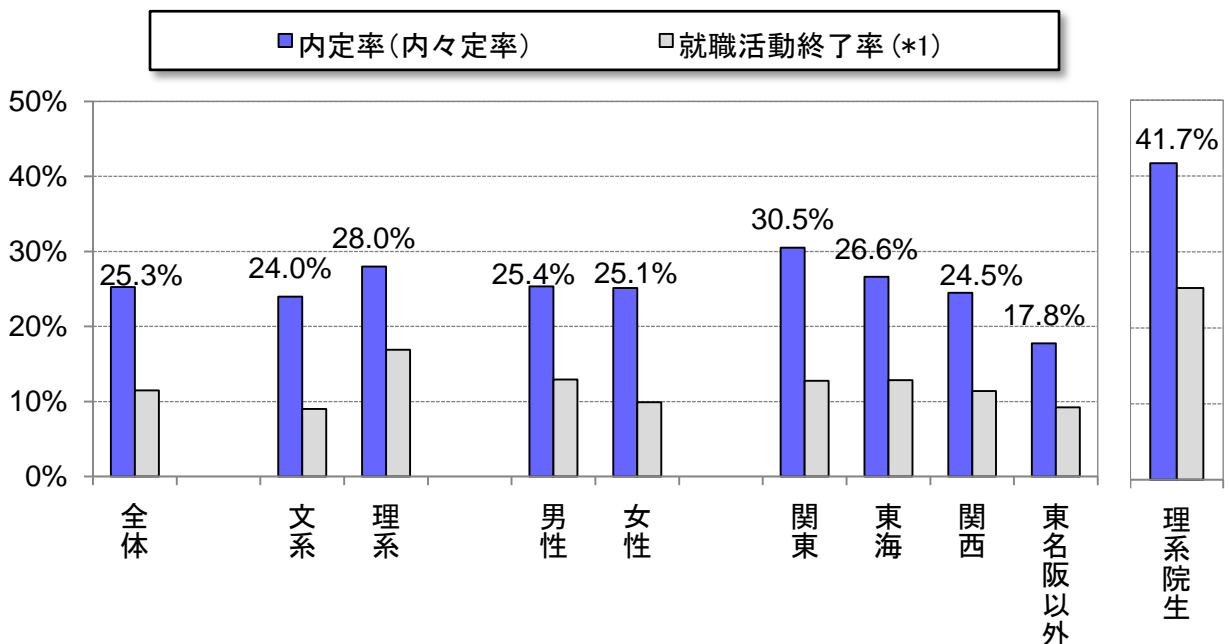


2011年5月20日

## リクナビ会員の内定率(内々定率) 4月度 ～大学生・大学院生の就職活動動向レポート<リクナビ調べ>より～

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO: 柏木齊)では、リクナビ会員の大学生・大学院生を対象に、4月22日～5月3日現在の就職活動の状況を取りまとめましたので、ご報告いたします。

- 調査時点でのリクナビ会員の大学生の内定率(内々定率)は、25.3%。  
また、就職活動終了率(\*1)は、11.5%となった。
- 文理別にみると、内定率(内々定率)は文系24.0%、理系28.0%。  
ただし理系大学院生の取得率は41.7%と、大学生全体の25.3%より16.4ポイント高い。



	大学生								
	文理		男女		地域(*2)				
	文系	理系	男性	女性	関東	東海	関西	東名阪以外	
有効回答数(名)	1,089	746	343	564	525	439	109	237	304
内定率(内々定率)	25.3%	24.0%	28.0%	25.4%	25.1%	30.5%	26.6%	24.5%	17.8%
就職活動終了率(*1)	11.5%	9.0%	16.9%	12.9%	9.9%	12.8%	12.8%	11.4%	9.2%

大学院生 (参考)
理系院生
487
41.7%
25.3%

\*1: 「今後、就職活動を終了する」と回答した者の割合

\*2: 学生がリクナビに登録している現住所(都道府県)

東名阪に含まれる都道府県

関東: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

東海: 静岡県、岐阜県、愛知県、三重県

関西: 滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、和歌山県、兵庫県

【本件に関するお問い合わせ先】

[https://www.recruit.jp/form/inquiry\\_press.php](https://www.recruit.jp/form/inquiry_press.php)

～ 2012年卒業  
予定のリクナビ  
会員対象～

大学生・大学  
院生の就職活  
動動向レポート

- 主体: 株式会社リクルート HRカンパニー
- 目的: 就職活動中の大学生の就職活動状況を明らかにし、関係各位の参考に供する。
- 時期: 2011年4月22日～5月3日
- 対象: リクナビ2012\*会員の大学生および大学院生428,676名  
\*リクナビ: 株式会社リクルートが開設している、就職活動を支援するサイト。  
<http://job.rikunabi.com/2012/>
- 調査方法: 対象者に対し、メールで調査を告知。調査用のホームページ上で回答を回収した。
- 集計対象数: 大学生:1,089名、大学院生(理系):487名  
計 1,576名 (回収率:0.37%)  
※男女比の調整について  
回答者の男女比について、実際の母集団の男女比に近づけるよう、文部科学省「平成22年度学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている。

### 【参考】

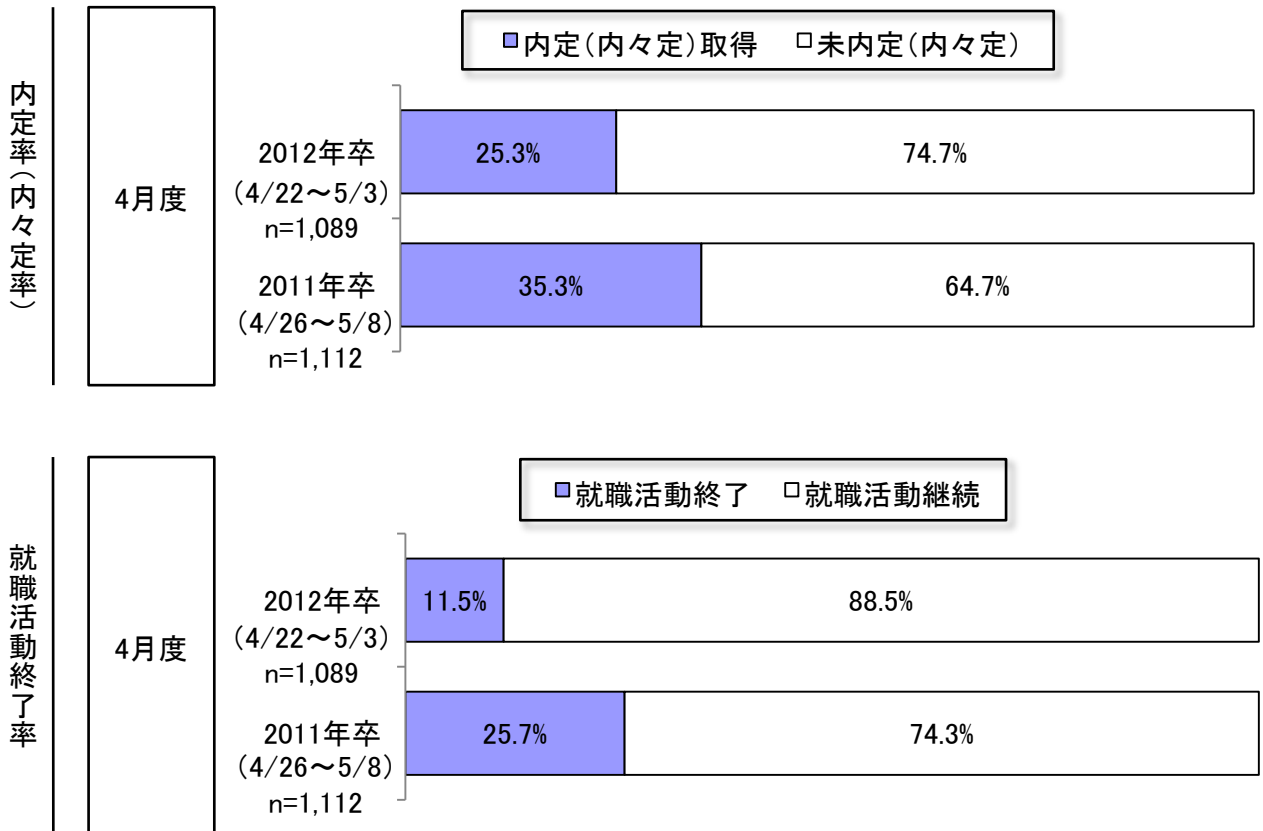
～ 2011年卒業  
予定のリクナビ  
会員対象～

大学生・大学  
院生の就職活  
動動向レポート

- 主体: 同上
- 目的: 同上
- 時期: 2010年4月26日～5月8日
- 対象: リクナビ2011会員の大学生および大学院生 213,911名
- 調査方法: 対象者に対し、メールで調査を告知。調査用のホームページ上で回答を回収した。
- 集計対象数: 大学生:1,112名 (回収率:0.52%)  
※男女比の調整について  
回答者の男女比について、実際の母集団の男女比に近づけるよう、文部科学省「平成21年度学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている。

## 【参考】リクナビ会員(大学生)の内定率(内々定率)と就職活動終了率の前年比較

- 4月度のリクナビ会員(大学生)の内定率(内々定率)は、2012年卒は25.3%となり、2011年卒の35.3%と比べ、10.0ポイント低い。また就職活動終了率は、2012年卒は11.5%となり、2011年卒の25.7%と比べ、14.2ポイント低い。



## 【参考】震災を受けての就職活動の状況

- 企業の対応については、全般に、採用選考時期の遅れや重なりによる、就職活動の長期化や学業への影響、企業と接点を持つ機会の減少を懸念する傾向が見られたが、その傾向は被災地(\*)の学生で、より強くなっている(項目1~6参照)。
- 被災地の大学生は、20%超が就職活動を続けることへの困難を感じており(項目11~13参照)、半数強が情報の入手や、例年の傾向が参考にならないことへの不安を感じている(項目7、9参照)。

\* 被災地: 青森県、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、茨城県、千葉県に現住所がある大学生  
(現住所が被災地の大学生:n=126/それ以外:n=963)

■あてはまる計 □どちらともいえない □あてはまらない計

項目	内容	地域	回答割合 (%)		
			あてはまる計	どちらともいえない	あてはまらない計
企業の対応について	1 複数の企業の採用選考時期が重なり、参加できない企業が出てくると思う	被災地	65.9%	8.7%	25.4%
		それ以外	51.3%	15.2%	33.5%
	2 採用選考時期が遅くなり、卒業/修了論文や研究の時間が少なくなると思う	被災地	73.0%	7.1%	19.8%
		それ以外	56.2%	14.3%	29.5%
	3 志望度の高い企業の採用選考時期が遅くなり、就職活動を長期間続けることになると思う	被災地	81.0%	8.7%	10.3%
		それ以外	66.4%	13.7%	19.9%
4 企業が参加するイベントが中止・延期になり、企業の人と直接接点を持つ機会が減ると思う	被災地	61.9%	16.7%	21.4%	
	それ以外	44.9%	21.2%	34.0%	
5 企業がOB・OG訪問の受け入れを中止・延期し、企業の人と直接接点を持つ機会が減ると思う	被災地	40.5%	22.2%	37.3%	
	それ以外	29.1%	26.7%	44.2%	
6 企業の採用選考時期が大きく変更となり、いつ何をすればいいのかわからない	被災地	51.6%	19.8%	28.6%	
	それ以外	47.0%	19.0%	34.0%	
学生の心理について	7 就職活動に関する情報が、不足なく入手できているのかどうか不安だ	被災地	61.1%	10.3%	28.6%
		それ以外	45.3%	19.7%	35.0%
	8 他の地域の学生と比べ、不利になるのではと思う	被災地	47.6%	16.7%	35.7%
		それ以外	23.1%	21.6%	55.3%
	9 例年の傾向(先輩の就職活動情報など)が、全く参考にならないので不安だ	被災地	54.0%	18.3%	27.8%
		それ以外	46.1%	19.6%	34.3%
	10 内定がもらえるかどうか不安だ	被災地	70.6%	13.5%	15.9%
		それ以外	65.2%	11.5%	23.3%
	11 経済上の理由で(財産を失った、アルバイトできないなど)、就職活動を続けるのが困難だ	被災地	23.8%	12.7%	63.5%
		それ以外	18.3%	11.6%	70.1%
	12 物理的な理由で(住まいを失った、交通手段がないなど)、就職活動を続けるのが困難だ	被災地	20.6%	11.1%	68.3%
		それ以外	8.8%	9.8%	81.4%
	13 心理的な理由で(震災のショックが大きいなど)、就職活動を続けるのが困難だ	被災地	21.4%	14.3%	64.3%
それ以外		11.9%	12.3%	75.8%	

<算出方法>各項目について、「全くあてはまらない」「あまりあてはまらない」「どちらともいえない」「ややあてはまる」「かなりあてはまる」を選択し、選択率を算出。「全くあてはまらない」「あまりあてはまらない」の合計を「あてはまらない」計とし、「ややあてはまる」「かなりあてはまる」の合計を「あてはまる」計とした。